

令和5年度 第3回 村上市子ども・子育て会議 会議録

| | |
|-----|--|
| 会議名 | 令和5年度 第3回村上市子ども・子育て会議 |
| 日時 | 令和6年3月25日(月) 午後2時～ |
| 会場 | 村上市役所 大会議室(4階) |
| 出席者 | 出席委員：10名 飯島委員、平野委員、長委員、渡部委員、富樫委員(副委員長)、小池委員、工藤委員、本間委員、鈴木委員、仲委員(委員長) ※名簿順 |
| | 欠席委員：増田委員、市井委員、竹田委員、齋藤委員 |
| | オブザーバー：鈴木氏 |
| | 事務局：福祉課 太田課長、福祉課 石田室長、保健医療課 押切課長、生涯学習課 片岡室長、学校教育課 小川課長、こども課 山田課長、高橋洋一室長、小林副参事、渡邊主査、高橋係長、渡辺係長 |

| 会議抄録 | |
|------|--|
| 1 | 開会 |
| 2 | 委員長あいさつ |
| 3 | 議事 |
| | (1) 「アンケート調査結果報告書など」について ※資料No.1-1について、事務局から説明 その後、ジャパン総研より、アンケート調査結果の詳細について説明 |
| | 委員長：「村上市子ども・子育て支援」に関するアンケートの調査結果について、ご説明いただきました。私も、この調査結果を見て、また、自由回答を見させていただいたのですが、色々と感じることがありました。皆様の方も、是非先ほどのご説明について、色々なご質問、ご意見等あると思います。 コンサルタントから、調査結果について感じたこと、村上市の特色みたいなものがあれば、是非お話いただきたいと思います。 |
| | ジャパン総研：今、この「子ども・子育て支援事業計画」というものを、来年度中に各市町村策定を一樣にしていくという中で、既に調査を行っているという所では、村上市はかなり早く進 |

めているところです。一番は、就学前の27ページ、「実際に使われている施設を利用しているかどうか」という所で、「利用している」と答えた方が、0歳で60.6%と、前回のアンケートと比べた時に20%上がっている所は、なかなか他の自治体で、ここまで上がる所は見られないと感じています。

恐らく0歳児から預けたいというニーズがあるということで、市として整備をされて、実際に預けられる環境が整ってきたから、こういった結果が出たと考えられると思います。

また、28ページに、それぞれの施設の詳細を示していますが、特に「小規模保育施設」が11.3%ということで、0-2歳の方が使える施設が増えたという所が一つこの地域としての特徴だと思っています。

また、地区別の傾向について、村上地区の中で整備が進んで、そこの方が利用されている傾向が見られますが、実際に少子化が進む一方で利用のニーズはあるので、今後の整備方針としてこの辺の数字が大きく関わってくると思います。

委員 長：保育人数が前回に比べて、20%も上がったという所がやはり大きな動きだと思っています。あとは、紙の調査はもういいから、QRコードでやってほしいという要望がありまして、時代の流れをととも感じています。

委員：感じたことですが、回収率が89%と高いことに驚きました。そして、自由記述の多いことに対して、皆さん市に期待しているんだと感じました。

「市に期待する項目」で、公園など、屋外で遊べる施設とか、屋内で遊べる施設への要望がありますが、前回の調査結果でもこのような回答が最も多くありました。結局今も変わらず、7割以上が「欲しい」という希望が多くなっています。

この自由記述を読むと、「一箇所にある」というよりも、自分の近くに公園などの施設がほしい、公民館を少し開放してほしいなど、もっと近くで遊べる所があった方がよいとのことではないかと感じましたが、いかがでしょうか。

事務局：遊び場につきましては、非常に高い要望が前回もございました。「第二期子ども・子育て支援計画」でもそういった所がございましたので、それを踏まえて一番に進めなければいけない施策だということで、旧神納東小学校に屋内の遊び場を設置しました。これも保護者の声を集めて、団体からの要望として上がってきていましたので、本当に皆さん多方面から望まれてきた施設だなと感じています。天候に左右されない遊び場として、令和4年から始めさせていただき、年間で3万3,000人を超える方に利用していただいています。無料ですので、非常に喜んで使っていただいています。また、市内のみならず、市外からも多くの方に使っていただいております。まずは、第一歩を踏み出したということで考えています。

屋内の遊び場は一つ作りましたが、屋外の大型遊具を用いた施設も一つ視野に入れながら

進めていきたいと思ひますし、一箇所ではなくて、複数箇所、できれば各地区にというお望みはあるとは思ひますが、その辺りは市の予算との兼ね合いがござひます。計画的に整備していかないとはいけません。例えば村上駅前や道の駅朝日など、色々な整備する施設がありますので、そういった所を鑑みながら検討したいと思ひています。

委員：今の話があつた所で、「公園など屋外で遊べる施設」が前回は77.9%で今回は75.9%、「今以上に充実すべき」が15.9%だつたのが15.3%に、「屋内で遊べる施設の充実」が、前回は「積極的に進めるべき」が80.9%で今回は76.0%、「今以上に充実するべき」が前回は13.8%で今回は15.0%になっています。やはり、旧神納東小学校に屋内で遊べる場所ができ、昨年の8月末に視察させていただいたのですが、非常に暑い中で、遊ばなければならないという状態でした。今後、施設設備がどこまでできるかをこれから考えていただきたいです。今回もこれだけのニーズがあるので、その辺を考慮していただきたいと思ひます。旧神納東小学校の所に、色々な形での子育て支援の施設を集約するような計画になっているみたいですが、前回の旧上海府保育園に、子育て施設があつて、そこにも何組か利用しているような所があつたのですが、今回新しい所ができたので、そこは閉めることになると思ひますが、「小さい所でも、近くにあるから利用する」ということができると思ひますので、その辺も少し考慮しながら進めていただければと思ひます。

事務局：時期的に暑い時期であつた、ということであります。これにつきましては、利用者の方からも施設改修のご要望をいただひています。屋内の遊び場は、小学校の体育館を利用していますので、屋根はかかっていますが、ほぼ外と同じような状況です。特に、昨年の夏は長期にわたつて高温が続き特に暑かつたですが、考えているのは、体育館の隣の保健室だつた所を改修して少し休憩できる部屋を作ろう、ということにしています。冷暖房完備、水道、手洗いもできますので、ちょっとした休憩・食事ができるような形に改修したいと思ひています。

上海府子育て支援センターは先日の3月16日に閉所式をさせていただきました。14組の親子の方が来られて、これまで親しんできた施設の閉所を惜しんでいました。その際にも新しい施設が今月28日にプレオープンするので、是非ご利用くださいということでPRしてきました。今後、施設の充実については、声を聞きながら検討していきたいと考えています。

委員：「身近な外で遊べる環境」について、瀬波地区では、「色々な事情があつて近くの公園で遊べない」ということも見えています。近くに公園があつても、ネットがボロボロだつたり、遊具が劣化してきている所もあるので、出来たら少しそこを整備していただけたら有難いと思ひます。小学生くらいになると、外で遊ぶとなると小学校まで行って遊ぶ感じになるのですが、近くでもっと遊べるような所があつたらいいと思ひます。旧神納東小学校

の屋内の遊び場は、利用させてもらったことがあるのですが、すごく子ども達も喜んでいきますし、とても有難いなと思っています。中の遊び場はこのまま充実していただければと思っています。

委員 長：先ほど調査結果を見まして、子ども達の外遊びの時間が大変短いということが気になりました。子どもの遊び方の変化もあるのですが、やはり、子どもたちに魅力ある遊び場が十分確保できていないということもあるのかと気になっていた所です。

委員：そもそもすごく膨大なアンケートを我が家では、就学前と小学生児童のそれぞれに回答しましたが、すごく回収率の高いことにびっくりしましたし、自由回答もすごく皆さん真剣に取り組んでくださったんだなという思いで見えていました。新潟県は天気の良い日がすごく少ないので、どうしても家の中に籠りがちになる季節が多くなってしまいます。子どもが成長するにつれて、ゲームをする時間が長くなったり、動画を見る時間が長くなってくると、親としてはすごく気になるので、ちょっとでも外に出て欲しい、外で何か遊んできてくれないかと思いますが、外の天気が悪いと、なかなかそういったことも難しいですし、屋内遊び場は連れて行かないと遊べないような距離があるので、近場で子ども達だけでも行って遊べるような施設があると親からすると有難いと思います。

委員 長：やはり、ずっと「遊び場を充実して欲しい」という声が上がっています。これだけ市民の声、要望としてしっかり答えていただいていますので、行政としても応えていくということ、しっかりやっていただきたいなと感じます。

委員：やはり小さいお子さんをお持ちの親御さんは、移動するのがすごく大変です。一回、「よし、出るぞ！」となると、車にチャイルドシートをつける所からはじまり、オムツを持つ、食べ物も食べられない子は離乳食を持つ、着替えを持つなどすごい準備をして、「さあ、出かけるぞ！」となるわけです。やはり、そこで「さあ、出かけるぞ！」と思ってもらうには、やはりそれなりの「ここへ行けば絶対楽しい！」みたいな所が無いと、なかなか出て行かないかなと思っています。すごいものを揃える必要があるわけではなく、近場に、冷暖房が揃った広い部屋があるだけで十分だと思います。活動的な小学生・中学生は、広いスペースがある、夏場に冷房の効いた広い部屋がある、それだけで、遊具は無くても、十分子ども達は自分達で遊びを考えていくと感じました。

そのほか、やはり小さい時（乳児の時）のお母さん達の繋がりづくりが難しいと思っていて、今そういった手立てがあまり無いと感じています。保健師や行政との繋がりしかなかく、困っていることをきちんと伝えたり、相談したりということなかなかできないという意見を聞いたり感じるの、その部分で子育て支援センターの地域の居場所というのはとても大事だと思います。

委員 長：この市は地域によって難しい所があると思います。身近に施設があるかどうか。自由記述

で気になったのが、山北地区で子育てに孤独感を感じているという意見がありました。地域的なことでも是非考えていきたいと思います。

委員：先ほど屋内の遊び場の利用状況で、3万3,000人の利用があったという話を聞いたのですが、放課後デイから広い所で子ども達を遊ばせたいという要望があります。ただ、その体育館を放課後デイが使おうとすると、なかなか他の子達と一緒に遊ぶということが難しいということがあり利用しづらいという話を聞きましたが、その辺りはどのように対応しているのでしょうか。

事務局：放課後デイをご利用されているお子様については、所員が同伴をして利用していただいております。16時で閉館ですので、放課後デイが14時から或るいは15時からということで、少ない利用時間とはなってしまうのですが、こちらの方に直接来ていただいて利用していただいています。ただし、児童が10名以上の方については、団体利用という形の定義になりますので、事前に予約をして利用していただくようにしています。これについては、他の団体についても同じ取り扱いをさせていただいております。10名以下については、個人利用という形になりますので、他の利用者と合わせて遊んでいただいているという状況になります。

委員：放課後デイに関わらずの要望で、「16時迄の利用」ということなので、放課後デイの方が使いたい、もしくは学童の方が使いたい、といった時には、16時迄の利用だと非常に利用しづらく、逆に「16時から放課後デイ、学童、予約の順番で利用できますよ。」という風にやって頂けると大変有難いです。何故かという、小学生になりますと、運動量が非常に多いので、学童施設・放課後デイの施設では、子ども達を十分に遊ばせることが出来ません。なので、是非、ご検討をお願いしたいと思います。

アンケート調査について、地域差が非常にあると感じました。これから計画を立てていくにあたって、地域差、地域の特徴というものを十分に踏まえた計画にしていきたいと思います。また、5年前のアンケート調査から変化があった箇所が結構あると思いました。

委員長：今回の調査だけでなく、これまでの調査を通じて、どのように変わってきたか、という所についても情報提供いただけると、議論がより充実するかと思います

委員：自由記述で、いろいろな問題があり、それに対し市と私たちはどうやって取り組んでいけばいいのかを、具体的に考えていきたいです。

このアンケートの取扱いについて、例えば市ホームページなどに開示はしないのでしょうか。前はしなかったと思いますが、今回は良いところ、悪いところ、課題となっていることを、アンケートを書きくださった方たちに、どうまとまったのかはどのように伝わるのか伺いたいです。

事務局：アンケートの調査結果については、ホームページで公開していきます。修正箇所等もあり

ましたので、修正させていただいたものを資料として公表させていただきます。

委員長：この自由記述なども、そのまま個人などを特定されないような形で皆に見られる訳ですか。

事務局：自由記述については、個人情報等を制限させていただきながら、公表する方向で検討していきます。

委員：700件近い回答件数があったと思うのですが、すべて公表するということでよろしいですか。事務局：はい、こちらについては、すべて公表する方向で検討していきます。

委員：大いに参考にしたいと思います。区長や民生委員は、真剣に考えているので、こちらにもお勧めいただきたい。生活環境や職場環境、性的なトラブルなど本当に色々なことが書いてあり、これから良い子育て環境にしていくために、無駄にしたくないと思います。宜しくお願いします。

委員長：回答率が高いアンケートということについて、今回特に自由記述が本当に充実した内容でした。これは是非、我々の宝物として共有したいと考えました。市民に寄り添う市民活動の立場から色々なヒントが出てくると私も実感しておりました。

委員：就学前の児童の53ページで、「子育て応援タクシー利用補助金」がありますが、「今後使ってみたいですか。」という問いに「いいえ」が84.1%と高くなっています、これはどういった補助金なのでしょう。

事務局：「子育て応援タクシー利用補助金」について、二つのカテゴリーがありまして、まず、一点目としては、陣痛時、お子さんがお生まれになる時に病院までどなたも連れていけない方の緊急時の対応ということで、タクシーを利用した場合に負担分の料金を補助するものです。もう一点は、お子さんが病気等で病院に行かなければいけない時、どなたも病院に連れていく事ができない方に対して対象となります。料金については往復分で上限額がありますが、補助させていただく制度になっています。

委員：皆さん自家用車があるので使う予定が無いということですね。分かりました。53ページから56ページですが、行政の方に「今後利用したい」というところで、「パパ・ママ応援室」の「いいえ」の方が68.1%、「家庭教育の講座とか講演会」が59.7%など、「今後使ってみたい」よりも「いいえ」の方が多いのですが、行政の想いと皆さんの想いが合致していないのか、それとも、あまり知らないからなのか、魅力がないからなのか、これはどう受け止められてますでしょうか。

事務局：「パパ・ママ応援教室」につきましては、今は実施しておりません。今の形態としましては、妊娠届けをお受けした時に、全員の妊婦さんに対して、保健師、栄養士が面談をして対応しているような状況に変化しています。ここ4年くらいになるかと思うのですが、「パパ・ママ応援教室」を実際行政が行っていないため、「いいえ」とい

う回答が多いのではないかと思います。

委員：NPO法人ohanaネットで、「パパ・ママ応援教室」を月1回、2組に行っています。二人目を欲しいと思っている方は「パパ・ママ応援教室」を必要としますが、妊娠を考えてない方は「必要ない」ということで、丸をつけたと思います。

委員：コロナ禍になった時に、集団で集まることが出来なくなり、一切しなくなりました。今少しずつ戻ってきたようですが、病院も個人面談的になってきており、事業としても個別に「家庭訪問」の形で行っているのです、その影響だと思われます。

委員：自由記載欄の所に、本当に詳しく皆さん答えていただいて、ざっと見たところ、こういう施設が欲しい、こういう風にして欲しいなどの要望を、大まかでもある程度取りまとめができるような形にして、どのような意見が具体的に多いかを、計画に反映させて、施設やサービスにつなげていただければと思います。こういった形で丁寧に意見してくれることがなかなか無いと思うので、これを活かして、次に繋げていくのが、この会議での役割だと思うので、アンケートをやった良かったです。

委員：このアンケートを实际記載して下さったお母さん達から、「量が多くて、答えづらい」、「子育ての忙しい中で、一生懸命回答したんだから、行政がちゃんとしてくれないと困る」という感想を何人から頂きました。忙しいお母さん、お父さん方が忙しい中回答して下さったと思うので、よろしくお願い致します。

事務局：そういったご意見、ごもっともだと思います。今回は8割、9割を超える非常に高い回答率でありました。これにつきましては、調査する前に色々ご意見もありました。ネットでアンケートをするのか、あるいはペーパーでするのかということで、やはりペーパーですると回収率が上がる、特に保育園、あるいは学校を通して配布、回収をすると、これだけ上がるというのは、前回のアンケートでも実証されておりましたので、こういった手法が良かったと感じています。

次の計画に反映して、実現していくことが大事だと思います。仰るようにこのアンケートを活かしていきたいと考えています。

副委員長：就学前児童のアンケートの自由回答を読んで気になったのですが、健診での担当からの言葉でひどく傷ついたという記述が結構ありました。今の健診では、昔とは違って夫婦で行かれる方が結構多いかと思うのですが、初めての子育てで抱えている不安を否定されたのではないのでしょうか、どういう言葉で言われたかはちょっと分からないのですが、傷つくようなことがあると、健診に行ってがっかりして帰ってくるという気持ちが残るのは可哀想と思います。子育てに関してもプロの方から見れば、若い方だと心許ない所もあるかとは思いますが、そういった所も受容しつつ、子育てが楽しくなるような方向で導いていただけるように言葉に気を付けていただければと思います。

最近健診に行ってきた人からも「もう働いているよ」とか、まだ「子どもは家で見ていた方が良くないじゃないの。」などと言われたことも聞きました。それぞれ就労しない、就労する理由もありますし、そこまで踏み込まれるのはどうなのかと思いました。

また、健診をどのような形でしているのか、市の職員も保健師も、確認していただけると有難いと思います。

議事 (2) 「こども計画」について

※資料No.2について、事務局から説明

委員長：有難うございました。「子ども・子育て会議」の仕事として、今度は「こども計画が入ってくるということで、また、詳しいことは次年度以降、説明いただくものと思います。その他、オブザーバーからご意見ありますか。

オブザーバー：本当にお母さん達お父さん達、多くの人達が真剣に答えて下さったと感じています。これだけの量のアンケートをこなして、そして、真剣に書いてくださっているという思いを強く感じ、今日参加して良かったと思います。

4 その他

※事務局から人事異動について説明

委員長：その他、皆さんから何かありましたら、お願い致します。

委員：経済的に厳しいご家庭の方達のお手伝いをしていますが、その数がどんどん増えていると感じます。お話をしていると、収入が増えた方が30人中2人くらいで、あとは全部「減った」と答えており、景気の上昇がここまでは来ていないことを身をもって感じています。企業のフードロスなどの取り組みが進んでいますが、その反面、コロナからの教訓で余分な物は作らない様になってなかなか食品が集まらない状況です。市にも協力してもらってフードドライブなどに取組んでいますが、集まる量がどんどん減ってきているので、その辺の所を、例えば、公民館や事業所にフードドライブのボックスを置いてもらうなどができるのであれば、是非お知らせ頂けると有難いです。

5 次回の会議日程について

事務局：次回につきましては、令和6年度第1回ということで、会議を5月頃に開催の予定をしています。なお、詳細につきましては、期日が近づきましたら、改めてご案内させていただきますと思いますので、宜しくお願い致します。

6 閉会 副委員長あいさつ